



オーストラリア直送レポート

Vol.7

2016.8.15 目の前に！！大迫力のジャンピングクロコダイル【DS】

ローズベリー最終日【PS】

- ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課：林
(引率教諭) 吉備中学校：西岡
- パーマストーン校・ローズベリー校グループ／教育委員会社会教育課：宮地
(引率教諭) 白馬中学校：熊ノ郷

【DS】研修は早くも最終週に突入しました。2週目の初日、DS校に登校して研修生の日焼けした顔と笑顔を見ると、ホストファミリーと充実した週末を過ごしたんだなと感じました。研修生から週末の話をしている間に、本日の目的地「ジャンピングクロコダイル」に向かう時間になってしまいました。

今回の郊外研修もホストファミリーであるDS校の生徒と一緒にバスに乗り込み、まずはジャンピングクロコダイルに向かいました。目的地に向かうバスの中では、今回研修生がお世話になっているホストファミリーが9月下旬に有田川町を訪れる話になりました。研修の中には、有田川町に帰った時に両親にホストファミリーになれないか聞いてみるという研修生もいました。現地で、親切に接してくれるホストが自分の町にやってくる。その時は自分の家に来て欲しい。その気持ちや国際交流とはそのような所から始まるんだなと改めて感じました。

DS校からバスで約1時間、アデレードリバーで船に乗ってジャンピングクロコダイルを見学します。ジャンピングクロコダイルが始まるまでに、ヘビを体にまきつかせてくれる体験がありました。研修生達はここぞとばかりに手を挙げて貴重な体験をしていました。そして、いよいよジャンピングクロコダイルクルージングがスタート。現地ガイドが船から肉を川に垂らしてクロコダイルおびき寄せると、その肉目掛けて食いつきに來ます。「あそこに！！」「わあ～」「これよりさっきのが大きい」などと、研修生は生のジャンピングクロコダイルに興奮していました。約1時間のジャンピングクロコダイルを見ていて、土色に濁った水で川幅や水深が分からない状態で、万が一船から落下したらきっと助からないと思いました。

ジャンピングクロコダイルの後は、再びバスに乗り込みダーウィン方面に。プールが併設されている公園でランチを食べました。昼から、その公園のプールを使用する予定でしたが、ここで日本では考えられない事態が発生します。それは、プールが臨時休業になっていたのです。DS校の先生もこの事態には、さすがに驚いた様子で、「先週の金曜日にHPと電話で確認した時は大丈夫だったのにと」言っていました。研修生達に予定が変更になりプールが使用できないと伝えても、どの研修生も不満を言わずに事態を受け入れて公園で楽し

く過ごしていました。日本で過ごしている時よりも、心の許容範囲やその場その場の状況に対して、臨機応変に対応する力がついてきているのかも知れません。明日は、市長訪問と市内見学の予定になっています。しっかり有田川町の研修生として、現地の市長さんに有田川町のアピールや質問をしてくれると思っています。(林)

今日は校外研修で、研修生はいつも通り8時30分にいつもの部屋に全員集合し、バスに乗りこみ今日の目的地に出発しました。今日の目的地は、先週からずっと楽しみにしていた Jumping Crocodile。川の中を船で周り、クロコダイルがジャンプする姿を見ることができるツアーです。約1時間半かけて目的地に到着しました。到着すると、玄関に巨大なクロコダイルの模型を発見。これはもう写真を撮るしかない、みんなで記念撮影。すると何やら他の観光客の方が集まり始めました。何かあったのかと思い、集まっているところに行くと、なんと、全長約2メートルのヘビがスタッフの女性の体に巻きついていました！研修生、ドリップストーン校の生徒も大興奮。さらにそのヘビを持たせていただけるということで、勇気ある研修生はヘビを体に巻きつけ記念撮影。そうこうしているうちに時間となり、船に乗り込み、ツアーがスタートしました。クロコダイルがうじゃうじゃいる川の中をクルーズ。お待ちかねの Jumping Crocodile の時間になると、スタッフの方が棒の先に餌(肉)をつけてクロコダイルをおびき寄せました。そして集まったクロコダイルが餌に目がけて大ジャンプ！すごい迫力でした。研修生は必死にカメラを構え、ジャンプの瞬間にシャッターをきっていました。そして約1時間のクルーズを終え、誰も怪我も船酔いもすることなく次の目的地の公園へと向かいました。そして公園で昼食をとり、公園内で45分間の自由時間。研修生は公園の遊具で遊んだり、公園内のバスケットコートで遊んだりして過ごしました。その後帰校し、帰宅しました。

今日の研修では、研修生の活力、元気さに安心しました。見知らぬ土地、ダーウィンに来て1週間。週末も様々な新しい経験をしたみたいでしたが、ホームシックになることなく、元気に今日も1日を過ごすことができました。スポンジのようにどんどん新しいことを吸収しています。少し心配していたのですが、安心させられました。明日以降も彼らの体調面には十分気を配りながら、見守っていきたいと思います。明日も校外研修の予定となっています。吉備中生、Take care of yourself and keep being active! (西岡)

【PS】週の始めの月曜日。今日はローズベリーミドルスクールでの研修最終日です。週末は、それぞれホストファミリーにいろいろなところへ連れて行っていただいたようです。みんな元気に、朝からその報告会で始まりました。日曜の夜は、ミンディービーチマーケットへホストファミリー達と集まった研修生達の様子を見て、ホスト達との関係がとても良好なものだと感じられて安心しました。

今日の授業は2コマずつで、まずは数学。1限目の数学は、数学とは何かについての授業でした。普段の生活の中で数学が使われているから必要なんですよという感じの授業でした。インド出身の先生で、早口の英語でなかなか聞き取りにくかったですが、「日本の話をしてください」と言うほど友好的な方でした。2限目の数学もかなり難しいものでした。グループに分かれてそれぞれ違う課題に取り組む進め方でしたが、現地の生徒達も「自分のグルー

プは何をするの？」という状態でした。それでも、グループで話し合いながら少しずつ取り組んでいました。先週、初めて現地の学校を訪れた頃とは、全く違う研修生達に見えました。

3、4限目はPGA（パーマストーンガールズアカデミー）というクラスでした。このクラスはアボリジニーの女の子の教育に関するクラスで、今日はバスケットをする計画をしてくれていたのですが、急きょ会議が入ってしまい、アボリジニーに対する教育について講義を受けました。それからはフリータイムとなってしまいました。研修生達は、アボリジニーに対する国の支援や教育について、真剣な表情で聞き入っていました。

フリータイムが長くなってしまふので、英語の授業へ参加させてもらうことになり、研修生達は英語の本を読むことになりました。そのリーディングを現地の生徒がマンツーマンで聞いてくれて、アドバイスをしてくれるというとてもいい交流ができるクラスでした。現地の生徒達は、日本人は読むのは上手だと言っていました。確かに日本人は聞くこと、話すことが苦手なように思います。研修生達はこの2週間でそういった力を伸ばしてくれることを期待します。午後はピザづくりの授業でした。このクラスは現地の生徒達は参加しませんでした。先生から英語で作り方の説明を受けて、みんな和気あいあいと作業を進めていました。

これでローズベリーミドルスクールの研修は終了です。ローズベリーでの3日間、私たちのお世話をしてくれた生徒がいます。彼女は4歳まで日本で過ごしたハーフの子で、オーストラリアでも日本のアニメを見ながら勉強したらしく、日本語がとても上手でした。そんな彼女に研修生達も頼りきりでした。彼女との別れを惜しんで、涙を浮かべながらハグをする生徒の姿がとても印象に残りました。これからも、日本とオーストラリアと距離は離れていますが、交流が続けばとてもうれしく思います。明日は、初めての小学校で1日過ごさせていただきます。研修生達の活動が楽しみです。（宮地）

「Which（どっち）？ youlllike?（あなたが好きなのは）」と、自分の知っている単語をつないで、オーストラリアの生徒に積極的に話しかけたり、仲良くなったローズベリーの生徒とハグしあう生徒の姿も見られるようになりました。今日の最後の授業は、日本の生徒だけの調理実習でした。オーストラリアの生徒と一緒にたまたまだ遠慮があるのか、自分達から行動を起こすことが出来ないことが多いのですが、この実習では、自分達で相談しながら、または、わからないことは先生に聞きながらピザを作ることができました。初めて事前研修を行った時から比べるとお互いの連帯感が強まり、少したくましくなったように感じました。

放課後、ホストファミリーが迎えに来てくれるのを待っている時に、一人の女の子が、「（ホストの）家に帰って、特に何もすることがない時、ホームシックになるよー」とつぶやきました。すると、ローズベリー校のジル先生が、「世界中どこの子供達もそんな風を感じるのよ。でも、ここで過ごす時間は人生のうちでほんの少ししかないから、今を大切に過ごしてみて。それでも、さびしかったら、ホストマザーにそう話してみて。きっと大きなハグであなをなぐさめてくれますよ」と話してくれました。それを聞いて、少し安心した表情でホストファミリーと帰って行きました。子供達は、そのやわらかい心でたくさんのかんじながら、しっかりとここオーストラリアの大地で生きています。（熊ノ郷）

（写真を次ページに掲載しています）

